

効果的な情報リテラシー教育を目指して： 教育活動における教員と図書館員の連携

講師：長澤多代先生

(三重大学高等教育創造開発センター)

図書館員

本当の連携とは？

教員

学生



日時 2010年 6月 12日 (土)

13:50~16:40

(13:30~受付開始)

※終了後、懇親会を予定しています。

会場 京大会館 211号室

〒606-8305 京都市左京区吉田河原町 15-9

参加費：大図研会員は無料（非会員は 500 円）

近年、大学図書館では教員との連携による教育活動（情報リテラシー教育）が数多く実践され報告されています。ただし、図書館員が主体的に教員との連携を図ることの必要性は認識されつつも、実際に教員・図書館員、そして学生の三者にとって意味のある、本当の意味での連携ができている例は多くはないのではないのでしょうか。

今回は長澤多代先生をお招きし、「所属機関・教員のニーズの予測（把握）」「教える好機(ティーチャブル・モーメント)」といったキーワードから、図書館員が教員と連携を図る上での有効なアプローチ手法や理論、さらには大学の教育機能において大学図書館が担うべき役割について考えてみたいと思います。

申込期限：6月10日（木）

申込方法：大図研京都ワンディセミナー申込フォーム

(<http://www.daitoken.com/kyoto/event/20100612.htm>) から申し込みください。

申込多数の場合、会場の収容人数を考慮し、早めに締め切らせていただくことがあります。

募集

京都支部では、皆様に企画運営に関わっていただきたいと思います。

当日の会場設営をお手伝いいただける方は、13時15分頃に会場前にお集まりください。